

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>普段なかなか聞いたり見たりできないことを体験でき、とても面白かったです。国内で最先端の教育方法を取り入れていると知り、同じ学内の職員として誇らしく思いました。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>お忙しい中、お時間をいただけたことをとてもありがたく思います。学生のコンペの賞金については、例えば社会系内にある学会のようなもの（教員や学生から会費を集めて運営）でまかなうことはできないのだろうか、とふと思いました。例えば、経営学会などは、懸賞論文というのを募集し、優秀作品には賞金を出していたと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>教員や研究助手の方々から直接事務サイドへの要望を聞くと、とても力強いメッセージに感じられました。特に英語での情報発信は、ほかの部署からも強い要望のあるものと思います。 今回のように直接現場を訪ね、そこでの経験を共有することはとても意味のあることと思うので、今後もこういった企画を行っていただけるとありがたいです。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>教育の現場を知る機会を持てたことは非常に有意義でした。</p> <p>また、教員養成の大学院教育ではなく、スタジオ教育のように実践的な学生中心の教育システムが本学において展開されていることを知って、大学教育の変化、本学の教育レベルの高さなどを感じました。</p> <p>大変実績のある教授陣が集まり、少人数教育を実践することで、有能な人材が育ち、未来の社会をより良く創りだしていくことをせつに願っています。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>事務職員に、教育現場を紹介して戴いたことに感謝いたします。事務職員として、現在、本学で行われている教育内容や、ニーズを把握できれば、対外的な説明・広報、日々の大学運営において活かせることが出てくると思います。</p> <p>(4 セメスターにおいて課題に真剣に取り組む学生と教授陣のシビアの面と、創造的なものを考えだしプレゼンによって社会的な評価とマッチングしたときの喜びを感じられる建築教育の魅力を感じました。) 実社会で建築家として活躍するために必要な資質・能力を伸ばすための指導、教育は大変かと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回の企画を実現してくれたことに大変感謝しています。(事務職員が日々の業務、或いは大学運営、政策決定、研究補助等に活かせるので良いことだと思います。)</p> <p>個人的には、今後の学びのひろばは、このまま「本学の教育・研究の現状を知ろう」ということで企画されるのは如何ですか？(本学の現状、強み・弱みを共有して伸ばすことが今重要だと思います。)(村田局長時代の高等教育政策の勉強会、竹下局長時代の非常勤を問わずコミュニケーションによる教職員ネットワーク構築、有松局長に何をテーマにされるか照会されたら如何ですか?)</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>ガラス張りで開放感がある Y-GSA の建物は学内では異質で、目立つ存在でありながらも一体何をしているのかよくわからず常日頃から非常に興味がありました。今回このような見学する機会に恵まれ、実際の現場を垣間見ることができたのはとても貴重でした。Y-GSA が国内外に誇れる非常に特色あるプログラムであるということを再認識し、また一つ学内における知識が増え大変良かったです。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>著名な先生方からのお話を直に聞いて大変貴重な時間でした。Y-GSA が日本でも数少ないスタジオ教育方式を取り、少数精鋭の建築家養成プログラムであることが各界から注目を浴びているというのは納得のいく限りでした。 直接業務を通して関わることは少ないと思っていましたが、先生方から事務方への要望についてという質問の際、海外への情報発信、留学生の受入等でサポートが必要という話を聞いて何かお手伝いが出来ればと思いました。 とてもお忙しい中ありがとうございました。益々のご活躍をお祈りしております。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回のような研究教育の現場を見る・知る体験は、学内で働いていてもなかなか機会が無いので是非各学部企画して欲しいです。学内の魅力・特色などを知ることは業務に対するモチベーションを高めることに繋がっていると感じました。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>一番に感じたのが、「自分が働いている大学にこんな凄い場所があったんだ」という驚きです。都市イノベーションという名称や講座名などから想像する堅いイメージとは違い、見学に伺った YGS スタジオは開放的でどこかのアトリエのような雰囲気でした。そこで黙々作業をする学生の姿や彼らの作った緻密なポートフォリオを目にして、一つのものに打ち込む熱意や姿勢に、「自分のできることで、こういった場所を支えたい」と強く思いました。人は見たり経験したことでなければ何かを計画したり想像したりすることは難しいと思います。だからこそ、私達も学生と同じように実際に経験することを大切にしたいと感じました。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>研究室型ではなく、工房型で徹底的に学び、そこから自由に自らの力で羽ばたいていける人材を育成する。そこで学ぶ学生の質が高いのはもちろんのこと、教える側にも、物凄い気力と労力が必要なのだということを聞き、我々も YNU を支える一員としてしっかりしなければならぬと反省させられました。お話を聞く中で「実際の生活をサポートするための教育」という言葉が印象的で、昨今の就職至上主義に走りがちな考えを問い直す必要を感じました。先生方が日ごろ感じておられることや要望なども、わずかでしたがお聞きすることができ、今後も微力ながらお力になればと思います。このような機会を設けてくださり本当にありがとうございました。きっと知人に会ったら今回の訪問の時に感じた YGSA の魅力を語れるような気がします。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>初めて参加させて頂きましたが、今後も横浜国立大学の魅力を知るために実際の教育・研究現場を訪れたいと思いました。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none">・ Y-GSA について全く何も知らなかったが「こんなにすごい施設(教育制度)」について、よく知ることが出来た。・ YNU の「自慢できる、すごいこと」を知ることが出来、とてもよかった。・ 自分の業務が附属小の中だけで完結してしまわないように、大学の特色や教育についても常にアンテナをはっておき、こういった情報を小学校の先生方とも連携・共有できたらよいと思った。・ 時間が短く残念だった(先生方のお時間をちょうだいすることを考えるとあまり長い時間も NG に思うが。。。)・ もっと質問をしたかったが、時間がなかった。・ 開催が午後早い時間だったので、鎌倉からの往復時間がちょっともったいないと思った。・ 空席がたくさんあって勿体なかった。。。 こういう機会は滅多にないので、もっと大勢の人に聞いてもらいたいと思った。(宣伝不足? 上司が率先して参加する? 附属小の保護者等は学生教職員ではないから参加 NG? もっと大勢の人に宣伝・売り込みをして、活性化するとよいと思った)・ 附属小では、研究授業ということで各方面から色々な「講師の先生」「達人」をゲストに招いて、子ども達に色々な話を聞かせているが、全くよその大学ではなく、YNU の中にある先生方や院生たちともっと連携をして、「YNU の中で、附属小の研究が活性化するようにつながり」が広がると良いのでは。と思った。・ 給食に関しても、何らかの形で、大学と連携できるような教育や活動を探してみたいと思った。・ 機会があれば(時間が許せば)また参加したいと思った。
---	--

<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>昨今は大学の生き残りや学生の質など色々と言われているが「有言実行」している Y-GSA は本当に素晴らしい。「スタジオ制教育」はご苦勞の絶えないことと思うが、それ以上に学生・教授・大学にとって実り多い、素晴らしいシステムではないかと思う。大学職員（附属小学校栄養士）として、今まで Y-GSA のことを全く知らなかった事を恥ずかしく思うし、世界で活躍されている先生方と優秀な学生さん達のこういった営みを大学全体でもっと自慢・宣伝していくべきだと思ったので、Y-GSA がいかに素晴らしいかを、現場に持ち帰って、さっそく周りの人に話した。</p> <p>建築と給食は全く違う仕事かもしれないが、今日のお話で共通点がたくさんあると思った。「チームワークが必須で、綿密な計画の上に、協働でものを作り上げる」ところは給食室も同じだし、「(思想も含めて) 何を設計するのか」というのは、給食では「(思想も含めて) 何を食べさせるのか」ということ、「次世代を育てる」とか「実社会との接点（食材の生産・流通・調理等）」も同じ。「スタジオ教育制」の素晴らしさに学び、給食室ひいては附属小で、まねできるところは「まねび」たいと思う。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>企画と運営をありがとうございます。以前から参加したいと思っていましたが、1 学期は(4 月採用で)自分に余裕がありませんでした。2 学期になって少し余裕が出てきたので、初めて参加しました。</p> <p>日々の業務に流されていると、「自分のテリトリーでルーチンがうまくまわっていればそれでよし」とする考えに陥りがちですが、こういった企画があると「大学全体と、自分の業務の関係性や関わり」について考えたり・見つけ直す機会になるので、今後も時間が許す限り参加したいと思いますし、こういった企画が継続してあるとよいと思います。附属小の給食という仕事が大学と直接どう結びつくかを考えるのはけっこう大変な作業ですが、「大学は文化的な場である」という今日の言葉を忘れず、大学の発展に寄与・貢献できる業務のあり方点検のツールとして「学びのひろば」を今後も十分に活用していけたらと思います。お疲れ様です。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>Y-GSA という建築都市スクールがあることは知っており、前を通るたび、学内の他の建物にはない雰囲気が気になっていましたが、こんなにも豪華な教師陣・こんなにも学外に誇れる指導方法を実践しているとは、恥ずかしながら知りませんでした。 片平さんがおっしゃっていたように、先生方からお話を伺い、中を見学させていただいたことが大変刺激になりました。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>貴重なお時間を割いていただきありがとうございました。 「Y-GSA=スタジオ教育」ということが学生に浸透し、入学してくる学生の意識や意欲がどう変わってきてるか」や「元々ある建物や空間を再構築するのとまっさらな場所に一から創り上げていくのでは、どのようなアプローチの違いがあるか」など、質問したいことがたくさんありましたが、時間がなく残念でした。 居心地がいいなと思った街中の建物や空間が、実は先生方や Y-GSA を巣立ったみなさんが創り上げたものだった—そういう場面をこれからも楽しみにしています。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段自分が関わる事がなかなかない教育現場がまだまだたくさんあると思いますので、今回のように足を運んでお話を伺ったり、どのように学生に接しているかを見たりする機会があればと思います。 ・8月に事務局長になられた有松事務局長と職員が直接会話する機会などもあればいいなと思います。

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>普段、インターンシップのコーディネーターや、ベンチャー教育関連の運営を行っています。Y-GAS の学生は上記のものとあまり接点がないので、このような機会は貴重でした。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>優秀で且つ主体的な学生だからこそ、このスタジオ制度が成り立っているということが実感しました。 上記の仕事柄、工学府 PED コース・都市イノベーション学府の学生との接点が多く、より主体的に問題発見・解決していくための教育を行っておりますが、苦戦しているのが現状です。 私自身勉強を深めて、より効果のある方法を模索したいと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>このような場を継続的に運営されるのは大変な事かと思いますが、是非今後も定期的にも実施していただけたらうれしいです。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>貴重な場を設けていただきありがとうございました。Y-G S A はこれまで謎にまつまれているので見るも聞くも新鮮でした。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>Y-G S Aの前はよく通るのですが、いったい中がどうなっているのかずっと気になっていました。建物もおしゃれですが、やっぱり先生方もおしゃれなんですね。横国であって横国でないような、独自路線をいって帰属意識が薄いのかなという印象があったので、今回のような職員向けの企画に時間をさいてくださったことに少し驚きました。ライブでお話が聞けてとても嬉しかったです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>研究室訪問「研究の魅力を知ろう」シリーズもぜひお願いします。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ら う」についての感想</p>	<p>大学の主役はあくまでも先生方と学生であるのにも関わらず、必要最小限の業務連絡以外には先生方・学生と関わる機会自体が乏しいこともあり、彼らが大学職員に対してどのような要望を持っているのかという点を直接聞くことが出来ないことに少なからず疑問を感じていましたが、今回のイベントで、先生方から大学職員サイドに対するご要望・ご意見を伺うことが出来たので、今後仕事をしていく上での業務上改善すべき点・注意すべき点を明確にすることが出来たという点で有意義だったと思います。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>お話を聞かせて頂きましてありがとうございました。先生方が、事務方の職員に対してどういう希望や要望をもらっているのかをお聞かせ頂くことが出来、今後職員としてどういうことに留意しながら日常の仕事をしていけばいいのかということが、以前よりも明確になった気がします。規則やルールの関係上、どうしても複雑な手続きを避けて通れない部分もあり、特に金銭の部分で先生方の思うに任せない点については大変心苦しく思っておりますが、せめて事務方として、迅速に処理出来る部分に関してはその処理スピードと精度を高める努力は今後も継続していきたいと思っておりますので、何卒ご理解・ご協力頂けたらと思います。すぐにご意見やご要望を反映させていくのは難しい部分もありますが、この機会に限らず、日頃よりお気軽に思ってもらえることをお伝え頂けたらと思っております。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今後も先生方から大学職員に対して要望や意見等を出して頂ける機会があれば、それは先生方と大学職員の双方にとって大変有益なことだと思います。今回お話を聞かせ頂いた先生方の他にも、文系学部・理系学部を問わず、幅広い分野の先生方に「学びのひろば」に講師としてご参加下さるように働きかけていくことが出来れば、大学全体の改善点もより明確かつ詳細になると思いますので、今後も定期的に「学びのひろば」が開催されることを希望します。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>今回、初めてCの建物内に入らせていただきました。スタジオ教育という名前はお聞きしておりましたが、授業の進め方がとても特徴的で、開放的であり、実践的であり、本学の4つの精神に合致した他に自慢できる取り組みが本学で行われていたのかと、関心致しました。</p> <p>北山先生を初め、Y-GSA のスタッフの先生方がおっしゃっていたように、もっと外に対して大いにアピールすべき、個性ある魅力的な授業だと思いました。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>世界的にも有名な先生方が多くかかわっておられる Y-GSA は、世界に誇れる授業をされており、本学にそのような施設があることは、横浜国大の職員として大変誇りに思います。</p> <p>今後、益々発展されるように事務職員も協力して支えられたら良いと思っております。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回の「学びのひろば」のように、教員や学生と一緒にディスカッションできる機会があったら良いと思います。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>いつも Y-GSA の建物の前を通るたびに洒落た室内をのぞきながら興味を持っていました。今回このような機会に恵まれ、幸運でした。ありがとうございました。</p> <p>生き生きと作業に臨んでいる学生さんの姿が印象的です。素晴らしい環境であることがわかりました。</p> <p>スタジオ教育とは、経済・経営・人間科学の分野でも応用できるのでしょうか？未熟な私にはイメージがわからないのが残念です。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>「一定のことを身につけて初めてその分野で自由に考えることができるようになるものだ」という言葉が胸に響きました。</p> <p>サイエンスカフェで西沢先生のお話を初めて伺い感動したことがついこの間のようですが、横国大には自慢できる先生方がいらっしゃることをもっと発信していただけたら（ご自分でなさるのはこそばゆいとも思われますが・・・）と思います。</p> <p>お忙しいところ、お時間をさいいただきありがとうございました。きっと魅力的な建築家が離陸して行かれることと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>前もって、Y-GSA のウェブサイトは印刷して、読んでおいたのですが、直接、北山教授のお話できいて、学生に対する教育を熱意をもって進めておられることがよくわかりました。</p> <p>Y-GSA にかかるスタジオ教育についても、よくわかりました。</p> <p>広報入試に対する要望も北山教授、小嶋教授、藤原准教授より伺うことができたことは入試課広報担当としては収穫でした。</p> <p>今後、進学説明会等で、建築に興味のある高校生に対して、理工学部建築の AO 入試や Y-GSA へ進学した場合のスタジオ教育について、積極的に説明したくなりました。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>研究室制よりあえて大変なスタジオに学生が所属するというやり方を続けて熱心に学生に教育・研究されている姿勢に敬服しました。</p> <p>今後も学生のために、これまでどおりのスタジオ教育を推し進めていただきたいと思います。</p> <p>当方でも機会を見つけて、高校生に Y-GSA をアピールしたいと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>次回渡邊先生のほうは、都合がつかず、参加できませんが、引きつづき、このような現場を見る形の研修を続けていただけたらと思います。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>希望しておりました先生方の研究室訪問を企画していただきまして、ありがとうございました。</p> <p>大好きな建築界の先生方のお話を拝聴できるとのことでワクワクして参加させて頂きました。</p> <p>実際 Y-GSA を訪れてみると、とてもお洒落な空間でした。更に建築界を牽引される北山先生、小嶋先生、西沢先生、藤原先生のもと、それぞれのスタジオで技術や感性を身につけ、4つのスタジオのポートフォリオ提出で審査を受ける教育を行っていることを知り、素晴らしいシステムだなと感激いたしました。その大きな課題を乗り越えるからこそ、優秀な建築家の卵を次々と世に送り出しているのだなと納得できました。</p> <p>Y-GSA は YNU が世界に誇れる素晴らしい教育現場であると実感いたしました！ 研究課題、制作風景なども拝見させていただき、このままここに留まっていたいと思うクリエイティブな空間でした。</p> <p>小嶋先生もお話されていましたが、有名な建築家の教授がいらっしゃるのですから HP トップでどんどん取り上げていただき、YNU のイメージアップ、学生、留学生の集客に繋がってほしいと思いました。</p> <p>今回の聴講は、Y-GSA の魅力の一端を知ったに過ぎないと思いますが、大変刺激になり、自分自身の励みになりました。重ねて御礼申し上げます。</p>
---	---

<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>お忙しいところ職員の聴講にお時間をいただきましてありがとうございました。世界に誇れるクリエイティブな空間がYNUにあることを知りとても誇りに思いました。</p> <p>これからも先生方がそれぞれの個性を発揮されて、教育活動も建築家としてもご活躍できることを心より願っております。</p> <p>学生の奨学金について触れられていらっしゃいましたが、学務部学生支援課では、【(社) 建築業協会の給与型の奨学金】や【企業の給与型奨学金】の募集を毎年行っております。工学系の学生は授業や課題で忙しく、自分で奨学金を探したり、更には奨学金情報すらも知らない方が多いです。奨学金を希望するような学生へは奨学金情報をネット検索することや、学生支援課へ足を運ぶことをアナウンスしていただければ幸いです。どうぞよろしく願い申し上げます。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回のまなびのひろばは、YNUの中でこんなに素敵な場所があったかと再発見できる機会になりました。参加した職員は、YNUへの愛着心が深まったと思います。</p> <p>別分野の先生の研究室訪問も楽しみにしておりますので続けて企画して頂ければ嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>先生の研究室へ伺う場合、どうしても人数が限られてしまうと思いますが、多くの方に是非参加して欲しいと思いました！</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>自分が学んできた分野とは全く異なる世界だったので、とても新鮮でした。今回の聴講だけではその魅力の一片しか知ることはできなかったのかもしれませんが、「新時代の大学院教育」にふさわしい現場を見させていただいた気がします。</p> <p>本学の魅力の 1 つでもある「建築」「都市イノベーション」をもっと多くの人に知ってもらいたいと感じました。</p> <p>そのために、教員による外部発信だけに頼るのではなく、職員が支援できることを検討していかなければならないのだという北山先生・小嶋先生の言葉が印象に残りました。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>北山先生の講演を始め、小嶋先生、西沢先生、藤原先生、その他たくさんの方々の声を聞くことができた事はとてもよかったです。それぞれの方々の、それぞれの立場からの思い、教育に対する情熱、また建築に対する考えが伝わってきました。</p> <p>言われた事だけやっていたら良い。決められたマニュアルに従っている事が正しい。そんな価値観を持った若者が最近増えてきたと聞きます。</p> <p>「大学は自由な場、自分で学問を、可能性を見つける場である」と言う決まり文句をよく耳にしますが、「指示待ち人間」の若者が増えている今の世の中では、その決まり文句が魅力ある大学へと繋がっていかないのだと思います。</p> <p>より具体的なテーマと現場を提供するフィールドが大学に求められる時代になったのだと感じています。</p> <p>今回、先生方の講義を聴講し、実力のある若手研究者の育成の為に、あえて厳しい？・・・4 つのノルマを提供されている事にとっても魅力を感じました。</p> <p>建築の分野は私の専門分野ではなく、今回の聴講はその魅力の一片を知ったに過ぎないのかと思いますが、大変勉強になり、自分自身の励みにもなりました。</p> <p>何かに興味を持ち、たくさんの方々の意見や考えにもまれるながら勉強していく事が好奇心の発露であると共に向上心の発露にも繋がる事なのだ改めて感じる事ができました。</p>

<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回の学びのひろばのように様々な先生方の研究分野を職員が知ることとはとても大切だと感じました。</p> <p>全教員の講義を聞くことはできませんが、今後も様々な分野の先生方の講義や研究現場を見させていただけるような交流の場が学びのひろばで実現するといいですね。</p> <p>(※電話やメールだけの交流ではなく、対面する交流はやっぱりいいですね！)</p> <p>また、人数に限りがあるのかもしれませんが、もっと多くの職員の方に参加してもらえる学びのひろばであるといいですね。</p> <p>次回も楽しみにしています。</p>
-------------------------	--

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>Y-SGA について何も知らなかったもので、とても面白く、Y-SGA、横浜国立大学の魅力を知ることができました。</p> <p>以前、アート批評を専攻していてそこで書いた論文のテーマと関連する事柄を教えて頂けて(日本の土地の区分所有者の由来について)前から考えていたテーマについてさらにいっそう深く考えられるようになりました。また勉強したいとつくづく思いました。</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>日本の建築と食文化は世界に誇る日本の文化(私としてはアートだと思っています)だと思っています。</p> <p>今後のますますのご活躍を期待しております。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回のような実践的な場を見せてくださる企画にとっても興味惹かれます。</p>

平成 24 年度第 3 回「学びのひろば」アンケート

<p>①第 3 回 「教育の魅力を知ろう」 についての感想</p>	<p>おしゃれに講義されている様子, 懇談されている様子を外から見ていて, 国大らしからぬスタイリッシュな雰囲気で, どのようなことをされているのか, 以前から Y-GSA には興味がありました.</p> <p>学びのひろばの皆様のおかげで念願叶い, 中に入ると, やはり素晴らしい環境でした. 学生がいつでもモチベーションを高め, 意欲的にプロジェクトに取り組む仕組みが各所にあり, 先生方やスタッフの方々のご努力を実感しました. 良いお手本として, 私も出来る範囲で学生への学びの場の提供をしていきたいと思っています. とても勉強になりました.</p>
<p>②本日の講師、北山教授・小嶋教授・西沢教授・藤原教授へのメッセージをお願いします</p>	<p>北山先生の語り口はとても柔らかく, 非常に分かりやすい内容でした. 日々, 学生に接し, 学生を観察しているからだと思いました.</p> <p>小嶋先生, 西沢先生, 藤原先生とも刺激し合い, 教員も高めあう環境があることは本当に素晴らしいと思い, 先生方が話されている様子にも清々しさを感じました. 開放性がまさにそこにありました. 是非とも他学科, 他学部にもこの雰囲気を伝播していただき, 国大が掲げるスローガンが実現することを期待しています.</p> <p>研究室制度でも, 活発な交流が出来るの良いなあと思っています. 目的意識が上がると学生は凄く伸びると思いますので, 何のための授業なのか, 実験なのか, 研究なのかを提示することは重要ですね.</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>隣の学科学部で何をやっているのか, 非常に気になります. 知ることによって交流が始まったり, 刺激し合う相乗効果が期待できます.</p> <p>開放性を実現するためにも学内交流を活発にするようなイベントを期待しています.</p> <p>しかし, これまでの企画にはそのような観点が盛り込まれているので, 運営メンバーの方々のご努力には感謝感謝です.</p> <p>今後ともよろしく願いいたします.</p>